

トムス UX フロントスポイラー

このたびはトムス UXフロントスポイラー(以下スポイラー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2019年8月現在)

レクサス UX200/250h F SPORT MZAH1#/MZAA10 平成30年11月～ レクサス純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.フロントスポイラー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.フロントスポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルトはしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。
フロントスポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジトラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「フロントスポイラー素地品の塗装手順」を参照の事)
- 5.ビスの取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
- 6.両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
(詳しくは「3M PACプライマーN-200 取扱説明書」を参照の事)
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
- 7.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 8.両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 9.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 10.フロントスポイラー装着により、標準バンパーより全長は約48mm長くなり、地上高は約45mm低くなります。
- 11.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 12.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【フロントスポイラー 構成部品】



- ①フロントスポイラー x1
- ②タッピングスクリュー(M4×20) ×4
- ③ゴムスペーサー(5mm) ×4
- ④ゴムスペーサー(3mm) ×4
- ⑤ブラケット(27×55×25mm Z型) x2
- ⑥ブラケット(30×26×25mm Z型) x2
- ⑦フランジボルト(M6×16) x4
- ⑧フランジナット(M6) ×4
- ⑨プライマー ×1
- ⑩TOM'Sエンブレム ×1

取付手順



【スポイラーの取り付け】
1.エンジンアンダーカバーを固定している車両ボルトを4本取り外す。
【図1】

※取り外した車両ビスは再利用します。

車両エンジンアンダーカバー固定ボルトを4本取り外す。
【図1】



【図2】

- 2.①スポイラーを車両に仮当てを行い、取り付け位置を確認し、左図を参考にマスキングテープにてマスキングを行う。
【図2】

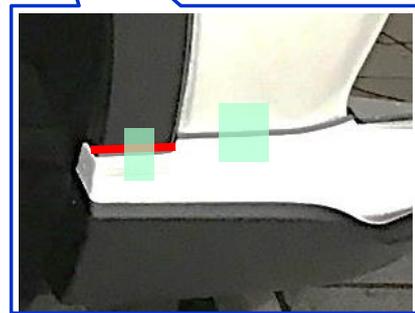


仮組時、バンパーにキズが付かない様にマスキングテープ等で広範囲に保護を行ってください。
特にマスキングテープで突き当たり部を保護してください。
※養生テープ等にて①スポイラーを固定すると作業が容易になります。



【図3-1】

- 3.①スポイラーを車両にあてがい、左図を参考に車両フロントフェンダーアーチモールと①スポイラーのエンドモール上端を合わせて仮組みする。
(左図赤ライン部分)
【図3-1】 【図3-2】



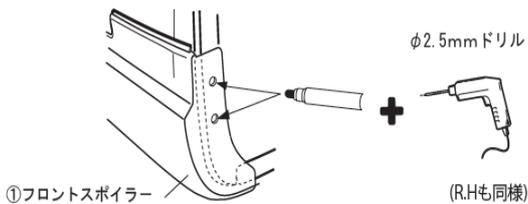
【図3-2】



スポイラーのエンドモールとバンパーの間に隙間が発生する場合は、スポイラー位置に原因があります。スポイラーを約5mm範囲内で上下の位置、左右の位置を調整する。

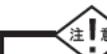


マーキングが正しく行なわれないと、フロントスポイラーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。



【図4】

- 4.取り付け位置を確認し、穴位置(フェンダーアーチ部)をマーキングし①スポイラーを一度外して2.5mmの穴を車両バンパーへ左右4ヶ所空ける。
【図4】



穴を開ける時両面テープが、バンパーに面あたりしているか確認する。



【図5】

- 5.車両フロントバンパーガード及び左右フロントバンパーエクステンションのゴミ・ホコリをウエス等にて除き、両面テープ貼付け部(左図ハイライト部)の脱脂処理を行う。
【図5】

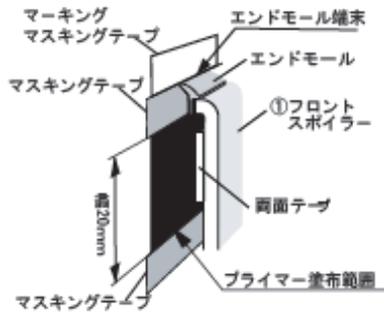


脂分の付着は、両面テープの接着力が低下する為、接着面の脱脂処理は十分に行う。



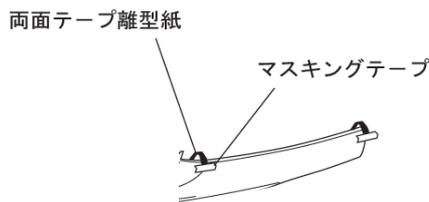
【図6】

- 6.マスキングテープに沿って塗布範囲に⑨プライマーを塗布し、常温で10分以上放置して十分に乾燥させる。
【図6】

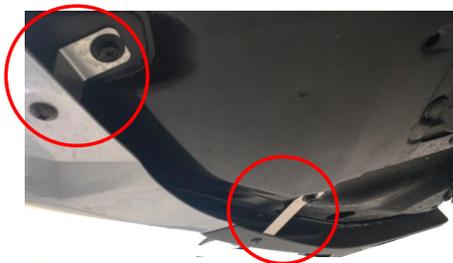


注!
塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしがないように気を付けて作業を行う。

注!
プライマー使用に際しては、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。
ポディーコート処理されている車両はマスキングをして両面テープ貼付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。



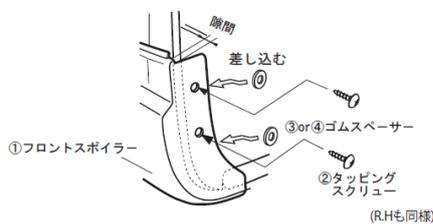
7.①スポイラーの両面テープ剥離紙を50mm程剥がしマスキングテープで止める。



【図7】

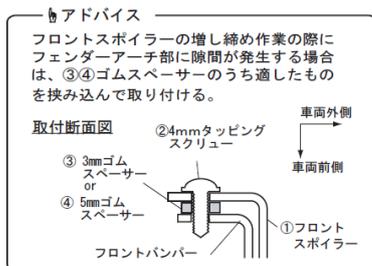
8.①スポイラーを車両バンパーのマスキングテープに合わせてあてがい、エンジンアンダーカバーと⑤及び⑥ブラケットを車両下方から⑦フランジボルト、上方から⑧フランジナットにて仮固定し車両ボルトにて仮固定する。
※取り付け位置や左右バランスを確認する。
【図7】

※写真は車両LH側ですが、RH側も同様に取り付ける。



9.①スポイラーのフェンダーアーチ部は②タッピングスクリューと隙間に応じて③若しくは④ゴムスペーサーにて仮固定する。

注!
フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。





10.両面テープ剥離紙を車両中央から外側に向かって順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス！

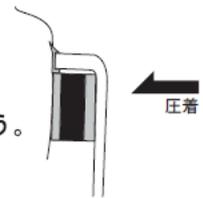
- ※剥離紙を引く抜く際に、①スポイラーの取り付け高さが変わらない様に注意してください。
- ※取り付け詳細図を参照し、矢視範囲で隙間が均等である事を確認してください。
- ※剥離紙が途中で切れない様に①スポイラーを少し浮かしながら剥離紙を引き抜いてください。



両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。



両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49N(5kgf/cm²)〕で行なう。



11.①スポイラーの浮き、剥がれがないかを確認し再度両面テープの貼り付け面を圧着する。

12.両面テープ貼付け後、上記各仮締めボルト、ナット類を本締めする。

13.①スポイラー中央部のエンブレム貼り付け部をしっかりと脱脂を行い、⑩TOM'Sエンブレムを貼り付ける。



⑩TOM'Sエンブレム



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月～金 AM9:00～PM6:00



フロントスポイラー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ①フロントスポイラー x1 | ⑦フランジボルト(M6×16) x4 |
| ②タッピングボルト(M4×20) x4 | ⑧フランジナット(M6) x4 |
| ③ゴムスペーサー(5mm) x4 | ⑨プライマー x1 |
| ④ゴムスペーサー(3mm) x4 | ⑩TOM'Sエンブレム x1 |
| ⑤ブラケット(27×55×25mm Z型) x2 | ⑪T字ゴムモール黒(テープ付き)3.0m x1 |
| ⑥ブラケット(30×26×25mm Z型) x2 | ⑫T字ゴムモールグレー(テープ付き)3.0m x1 |

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行うこと。



フラットブラック



本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。



60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。

II モール・両面テープ貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑪or⑫T字ゴムモールを仮付けしR部分にシワが発生するか確認を行う



シワがよる様であれば貼り付け面にカットを入れる。

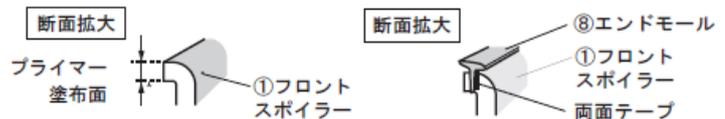


注! ⑫ エンドモール表側に切り込みを入れないよう切断に注意

2. ⑪⑫T字ゴムモールに両面テープを貼り付ける部分を脱脂し、⑨プライマーを塗布する。



プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷める為はみ出し等に気を付けて作業する。



3. 下記の要領で⑪or⑫T字ゴムモール剥離紙を剥がしながら貼り付ける。

※写真はRH側です、LH側も同様に作業を行ってください。



モールの圧着は、
車両が少しゆれる程度
[49N(5kgf/cm²)] で行なう。

